



平成27年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月3日 東

上場会社名 株式会社東京楽天地 上場取引所
 コード番号 8842 URL <http://www.rakutenchi.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田啓三
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 岡村 一 (TEL) 03(3631)5195
 四半期報告書提出予定日 平成26年12月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第3四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第3四半期	6,851	△2.0	1,137	14.5	1,181	7.0	728	34.8
26年1月期第3四半期	6,988	△1.4	993	△1.3	1,103	3.0	540	9.0

(注) 包括利益 27年1月期第3四半期 1,107百万円(30.3%) 26年1月期第3四半期 849百万円(52.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第3四半期	12.17	—
26年1月期第3四半期	9.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年1月期第3四半期	34,916	27,067	77.5	452.34
26年1月期	33,905	26,321	77.6	439.84

(参考) 自己資本 27年1月期第3四半期 27,067百万円 26年1月期 26,321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	3.00	—	3.00	6.00
27年1月期	—	3.00	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	△4.4	1,340	△6.7	1,430	△9.2	890	26.7	14.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年1月期3Q	65,112,187株	26年1月期	65,112,187株
27年1月期3Q	5,274,206株	26年1月期	5,268,889株
27年1月期3Q	59,841,269株	26年1月期3Q	59,847,760株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善し、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、消費増税に伴う駆け込み需要の反動や海外経済の下振れリスクもあり、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下にあつて、売上高は6,851百万円と前年同四半期に比べ136百万円(2.0%)の減収となり、営業利益は1,137百万円と前年同四半期に比べ143百万円(14.5%)の増益、経常利益は1,181百万円と前年同四半期に比べ77百万円(7.0%)の増益、四半期純利益は728百万円と前年同四半期に比べ187百万円(34.8%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(不動産賃貸関連事業)

不動産賃貸事業では、主力の楽天地ビルにおいては、「まるごとにつぼん市物産展」などの各種イベントを開催し、顧客満足度の向上をはかりました。また、昨年竣工した賃貸マンション2棟が売上高に寄与し、その他のビルも順調に稼働したため、前年同四半期を上回りました。

ビルメンテナンス事業では、意欲的な営業活動に努め、当初予想を上回る受注額を獲得しましたが、一部不採算事業所からの撤退などにより、前年同四半期を下回りました。

以上の結果、不動産賃貸関連事業の売上高は3,797百万円と前年同四半期に比べ1百万円(0.0%)の減収、セグメント利益は1,797百万円と前年同四半期に比べ155百万円(9.5%)の増益となりました。

(娯楽サービス関連事業)

映画興行事業では、大ヒットを記録した「アナと雪の女王」をはじめとして、「マレフィセント」「テルマエ・ロマエⅡ」「STAND BY ME ドラえもん」などの作品が好稼働しましたが、好調作品が続いた前年同四半期には及びませんでした。

温浴事業では、「楽天地天然温泉 法典の湯」は順調に稼働したものの、「天然温泉 楽天地スパ」では前年同四半期を下回りました。

フットサル事業では、「楽天地フットサルコート 錦糸町」において人工芝張替工事および天候不順による影響がありましたが、「楽天地フットサルコート 調布」が引き続き順調に稼働し、前年同四半期を上回りました。

以上の結果、娯楽サービス関連事業の売上高は2,252百万円と前年同四半期に比べ20百万円(0.9%)の減収、セグメント利益は187百万円と前年同四半期に比べ3百万円(2.1%)の増益となりました。

(飲食その他事業)

飲食事業では、ドトールコーヒー系フランチャイズ店において、既存店10店は前年同四半期並みとなりましたが、本年1月に「エクセルシオールカフェ ペリエ稲毛店」を閉店しましたので、前年同四半期を下回りました。

その他の事業では、宝くじの全国的な販売数の低迷に加え、本年1月に不採算店舗を閉店したことなどが影響し、前年同四半期を下回りました。

以上の結果、飲食その他事業の売上高は801百万円と前年同四半期に比べ114百万円(12.5%)の減収、セグメント利益は62百万円と前年同四半期に比べ5百万円(9.9%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は34,916百万円と前連結会計年度末に比べ1,010百万円の増加となりました。これは主として、マネー・マネジメント・ファンドの解約により有価証券が減少したこと、浅草事業場の建築工事代金を建設仮勘定に計上したこと、有形固定資産の減価償却がすすんだこと、および株価の上昇により投資有価証券が増加したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は7,849百万円と前連結会計年度末に比べ265百万円の増加となりました。これは主として、浅草事業場再開発の進捗に伴い環境対策引当金を取り崩したこと、および株価の上昇により増加したその他有価証券評価差額金に係る繰延税金負債を計上したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は27,067百万円と前連結会計年度末に比べ745百万円の増加となりました。これは主として、四半期純利益を計上したこと、その他有価証券評価差額金が増加したこと、および配当金を支払ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年9月3日発表の数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,768,810	1,559,766
売掛金	213,575	188,412
有価証券	1,063,365	100,000
その他	230,038	214,799
貸倒引当金	△38	△160
流動資産合計	3,275,752	2,062,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,183,743	15,468,617
土地	5,654,309	5,653,575
建設仮勘定	2,686,425	5,002,350
その他(純額)	260,614	221,366
有形固定資産合計	24,785,092	26,345,908
無形固定資産	283,710	301,928
投資その他の資産		
投資有価証券	4,813,110	5,457,067
その他	748,327	749,069
投資その他の資産合計	5,561,438	6,206,137
固定資産合計	30,630,241	32,853,974
資産合計	33,905,994	34,916,792

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	326,174	286,340
未払法人税等	279,825	297,290
賞与引当金	45,681	103,828
環境対策引当金	100,000	-
その他	1,240,064	1,381,729
流動負債合計	1,991,745	2,069,188
固定負債		
退職給付引当金	545,994	575,182
役員退職慰労引当金	66,249	82,124
資産除去債務	467,201	473,363
受入保証金	4,283,874	4,214,632
その他	229,417	435,207
固定負債合計	5,592,736	5,780,511
負債合計	7,584,482	7,849,699
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,046,035	3,046,035
資本剰余金	3,378,537	3,378,537
利益剰余金	21,043,549	21,412,984
自己株式	△1,978,319	△1,980,896
株主資本合計	25,489,802	25,856,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	831,709	1,210,433
その他の包括利益累計額合計	831,709	1,210,433
純資産合計	26,321,512	27,067,093
負債純資産合計	33,905,994	34,916,792

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
売上高	6,988,716	6,851,862
売上原価	5,142,697	4,831,903
売上総利益	1,846,019	2,019,958
一般管理費	852,322	882,582
営業利益	993,696	1,137,376
営業外収益		
受取利息	2,366	1,034
受取配当金	29,514	22,327
持分法による投資利益	81,278	67,119
投資有価証券売却益	53,031	13,292
その他	9,583	8,668
営業外収益合計	175,774	112,442
営業外費用		
支払利息	46,288	39,107
固定資産除却損	14,239	16,620
その他	4,975	12,893
営業外費用合計	65,503	68,622
経常利益	1,103,967	1,181,196
特別損失		
事業整理損	137,000	-
減損損失	72,038	-
特別損失合計	209,038	-
税金等調整前四半期純利益	894,929	1,181,196
法人税等	354,417	452,709
少数株主損益調整前四半期純利益	540,511	728,486
四半期純利益	540,511	728,486

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	540,511	728,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	308,920	378,724
その他の包括利益合計	308,920	378,724
四半期包括利益	849,432	1,107,210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	849,432	1,107,210
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	不動産賃貸 関連事業 (千円)	娯楽サービス 関連事業 (千円)	飲食その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	3,798,925	2,273,141	916,650	6,988,716	—	6,988,716
セグメント間の内部 売上高または振替高	315,375	1,259	378	317,013	△317,013	—
計	4,114,300	2,274,401	917,028	7,305,730	△317,013	6,988,716
セグメント利益	1,641,634	183,728	57,245	1,882,608	△888,912	993,696

(注) 1. セグメント利益の調整額△888,912千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△852,322千円、セグメント間取引消去△36,589千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損またはのれん等に関する情報

「飲食その他事業」において、当初の収益見込みを下回ることとなった一部店舗（千葉県船橋市等）について減損損失を認識しました。当該減損損失の計上額は72,038千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年2月1日至平成26年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	不動産賃貸 関連事業 (千円)	娯楽サービス 関連事業 (千円)	飲食その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	3,797,115	2,252,859	801,887	6,851,862	—	6,851,862
セグメント間の内部 売上高または振替高	313,729	1,121	375	315,226	△315,226	—
計	4,110,845	2,253,981	802,262	7,167,089	△315,226	6,851,862
セグメント利益	1,797,170	187,556	62,925	2,047,651	△910,275	1,137,376

(注) 1. セグメント利益の調整額△910,275千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△882,582千円、セグメント間取引消去△27,693千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年12月3日の取締役会において、進行中の浅草再開発事業に関して、下記のとおり未決議部分の設備投資の施行を決議いたしました。

1. 設備投資の目的および取得資産の内容

浅草再開発ビルの内装工事他 1,538,000千円

2. 開業時期 平成27年10月(予定)

3. 今後の見通し

当期中に発生する建設工事費に関する資金調達につきましては、自己資金を予定しており、当該取得が平成27年1月期決算に与える影響はありません。また、来期以降に発生する建設工事費に関する資金調達につきましては、現在未定であります。

4. その他の事項

浅草再開発ビルの概要

構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造	
階 数	地下2階、地上13階、塔屋1階	
高 さ	49.9m	
主な用途	地上5～13階 地上1～4階 地下1階	リッチモンドホテルプレミア浅草(仮称) まるごとにつぼん(商業施設) 遊技場
延床面積	約23,000㎡	